

### ◆MOIS 生の活躍

#### 「科学の甲子園ジュニア全国大会」

12月2日(金)から4日(日)までの3日間、科学の甲子園ジュニア全国大会が兵庫県姫路市で開催されました。本校からは3名の生徒が埼玉県代表として参加しました。残念ながら入賞は叶いませんでしたが、多くの非凡な都道府県代表と交流する機会を得たり、普段の授業では体験できない探究に全力でチャレンジできたり、充実した日々を過ごせたと思います。参加した1年生の高木さんと山根さんは、来年度は全国大会での入賞を目指してリベンジしたいと語ってくれました。



前列左から2年生内河来実さん、1年生高木颯介さん、山根陸さん。

#### 「さいたま市文化財キャラクター」

3年生の渡邊芽衣さんと安東瑛美さんがそれぞれ制作したキャラクターが、さいたま市文化財キャラクターに選ばれました。さいたま市立小学校・中学校・特別支援学校の児童・生徒15,064名の投票の結果、もっとも投票数の高かった2点として選ばれました。2人が制作したキャラクターは、さいたま市文化財である国指定史跡「真福寺貝塚」と特別天然記念物指定70周年を迎えた「田島ヶ原サクラソウ自生地」をPRするために活躍していきます。

作者	安東瑛美
キャラクター名	サクラソウサギ
設定・デザイン	さいたま市のサクラソウを自主的に守っているウサギ(とサクラソウ)の化身。自分に自信がないところもあるが、やさしくて人懐っこく、サクラソウが好き。言葉は話せないけど、なんとなく身振り手振りで大体考えていることは分かる。わかりやすいやつ。 サクラソウの花のかたちをイメージしてデザインを行いました。耳と、周りのほっぺあたりのギザギザした毛並みを合わせて、サクラソウの五枚の花びらになるようにしました。緑色のマントのようなものは、サクラソウの葉っぱをイメージしています。

作者	渡邊芽衣
キャラクター名	福みみズ
設定・デザイン	作成したキャラクターはモチーフである貝塚と、真福寺貝塚から発掘された重要文化財であるミミズク土偶をイメージしたデザインになっています。 福みみズは縄文人である福とその相棒であるミミで構成されるコンビです。福は縄文人らしい髪型とともに当時の縄文人が身に着けていた耳飾りや勾玉、貝塚のイメージで貝の飾りをつけています。身に着けているマントは発掘された土偶に似た模様にし、コンビ感を強めました。マントの下に着ているものも、縄文時代に人が実際に着ていたとされる服をイメージしたデザインしました。ミミは発掘された土偶をキャラクターらしく簡略化し、模様は福とお揃いになるようにしました。福耳になっているのは名前が駄洒落になっている(福耳(福みみ))ということで両方の耳を福耳にしました。

\*設定・デザインの紹介分は生徒によるものです。

## 「MATH コン2022」

3年生の小川怜実さんと秦菜々果さんが共同して作成したレポート『会いたい人と偶然すれ違う確率は…?!』が、MATH コン2022において埼玉県最優秀賞に選ばれました。2人の「推しに会いたい」という願いから生まれた研究で、自分たちで組んだプログラミングを駆使し、検証を重ね、考察を深めていました。結果として、「特定の人と偶然会う確率には「スタート時に離れている距離」「それぞれが1日で移動する距離」が大きく関係していることがわかったそうです。2人は「著名人でも、スタート時の距離によっては身近な存在よりも会える確率が高いというのはとても驚いたし、著名人にはとてもじゃないけど会えない、という固定概念を覆された」と感想を述べてくれました。



左から3年生秦菜々果さん、小川怜実さん  
まだ推しに会えたことはないそうです。

## IB Column

### Active Learning

IB コーディネータ: Brad Semans

In this month's IB Column we will look at some of the active learning opportunities that MOIS students have engaged in over the winter break and how those activities are representative of IB education and the goals of MOIS.

First, on December 26<sup>th</sup> and 27<sup>th</sup>, seven 4<sup>th</sup> grade students went to Otsuma University to participate in a large model united nation. Over the course of two days, our students represented Italy, Estonia, and Laos as 50 different delegations worked to create resolutions to solve the problem of food insecurity. Even though there were no prizes given or winners, our students spent a lot of time researching this topic and thinking carefully about how the world could be better!



At the same time, two teams of first, second, and third grade students participated in the Saitama City Junior High School English Debate Tournament. The topic of debate was about the use of paper and plastic in manufacturing goods. Both teams spent a lot of time doing research and thinking about the good and bad points of both paper and plastic products. In the end, they did a great job and one of our teams even won second place in the city!



Finally, lots of our students took the opportunity to seek out new chances for international experiences. Four MOIS students will be attending the Saitama City Innovation Program, a 1-week trip to Silicon Valley in California during which students will visit world-famous tech companies and learn about entrepreneurship. Several other students have applied for Stanford e-Japan, a very selective online program that connects Japanese high school students with professors and other professionals in the United States. Other students applied for the High School Diplomats, three-week programs in Japan and America. It is great to see so many MOIS students branching out to the world!

1学年「大掃除」

1学年担当：佐藤 裕一

年未年始と聞いて、皆さまは何を思い浮かべるでしょうか。答えはいろいろあると思いますが、多くのご家庭で行われたであろう「大掃除」をピックアップしたいと思います。というのも、1月は本校で入学者選抜があり、そのための準備で清掃と会場設営を生徒たちをお願いするのですが、それが素晴らしいのです。入学して最初の学年集会で、私は生徒たちに「世界一の学年になろう」と話しました。何をもちて世界一と判断するのかという話にはなりますが、こと「掃除」という分野においては胸を張って言えるくらいです。ご家庭での「掃除」はどうでしたでしょうか？もしかすると、私たちが学校で見ている様子とは違うのかもしれませんが、本当によくやってくれています。この場を借りて、感謝申し上げます。参観日となれば授業の様子は見られますが、掃除や給食の様子は見られません。したがって、その様子を写真で紹介したいと思います。



2学年「初心を思い出して」

2学年担当：小澤 星

新しい年、2023年が始まりました。年未年始はいかがお過ごしでしたか？生徒たちは、2週間の冬休み中に気持ちをリフレッシュして元気に登校してきてくれました。登校初日から100分間の授業が始まり、12日にはさいたま市学力学習状況調査を実施しました。久しぶりの授業と慣れないテストで、疲れている様子が見られましたが、休み時間や放課後には友達と楽しそうに過ごしていました。

学校が始まってすぐに入学者選抜が実施されました。生徒たちは、後輩たちのために、教室の掃除や準備を熱心に取り組みながら、自分が受検したときのことを話してくれました。苦手な科目を頑張ったこと、夜遅くまで勉強したこと、受検当日緊張していたことなど、MOIS に入学するために、多くの努力を積んできたことがわかりました。入学当初はそれぞれが高い目標を持って学校生活を送っていたことと思います。では、現在はでしょうか。高い評価をもらいたい、とこだわりをもって課題に取り組んでいる生徒もいれば、提出すればいいや、とモチベーションが上がっていない生徒もいます。年が明けたタイミングで初心の決意を思い出すよい機会ですので、今後の学校生活について教員から話をしていきます。ぜひご家庭でも今年の抱負を話し合ってみていただけると、生徒自身がより成長できるきっかけになると思います。



### 3学年「新年を迎えて」

3学年担当:窪田 悠

新しい年を迎え、前期課程の終了まで残すところ2か月となりました。早速冬休み明け初日にはさいたま市学力検査が行われました。このテストはさいたま市立の中学校3年生全員が受検するもので、高校の受験校の決定等の材料として使われます。もちろん MOIS には高校受験はありませんので、あまり関係ないと思われるかもしれませんが、他の中学生と比べて強み・弱みを認識すること、そして中学校の学習内容に対してどこに弱点を抱えているのかを把握する良い機会です。ぜひお子様とテストの結果について話をしてみてください。



さて、先ほども述べた通り、MOIS は後期課程への進級にあたって受験はありません。ただ周りの中学生が勉強している姿を見て焦っている、このままだったらと過ごして大丈夫なのか、と思われる保護者の方も多いのではないのでしょうか。学校ではこの3年生残り2か月を迎えて、以下のようなアドバイスをしています。

- 受験がない分、進路や将来についてじっくり考える時間に(半年後の6月には5年次のコース選択があります)
- 今しかできないチャレンジをする時間に(Club Activity や SA、英語ディベート、模擬国連など)
- 課題を克服する時間に(ポートフォリオ検討会で出た課題に対してアプローチを試みるなど)

ぜひ有意義な時間を過ごして義務教育を終えられるよう、ご家庭でのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 4年次「5年生へ向けて」

4年次担当:中村 一雅

1月19日(木)にベネッセ総合学力テスト(1月)が行われました。今回も記述のテストだったため、苦戦している様子も見られました。今回は校内で作成した社会と理科のテストも同時に行いました。各教科の長所を伸ばし、弱点の補強をするために、なるべく早く自己採点をするのが大切になります。各ご家庭で今回の模試の出来はどうだったか共有してみてください。

いよいよ4年生も残すところ2か月になりました。高校1年生の学習もいよいよ終盤です。1月14日(土)と15日(日)に行われた大学入試共通テストの問題に取り組む様子は各ご家庭で見られたでしょうか。VM 期間に課題で出題されている教科もありました。高校生は入学したその日から「受験生」と呼ばれることもよくあります。まだ「2年ある」と考えて後回しにしてしまうのではなく、「2年後のために」と考えて残りの時間をどのように使うか、各ご家庭で検討してみるのもよいかと思えます。

「大宮国祭」にむけての準備が、各クラスで進んでいます。大宮国祭は今回が初めての行事であり、MOIS 独自の文化的行事です。学びを深め、持続可能で、コミュニティーとのつながりを生み出すことのできる行事を目指します。各クラスが、学校が設定するテーマに沿って工夫をこらし、特色ある出し物の準備を進めています。クラス単位で何かを作り上げることがこれまでほとんどなかったため、どのような出し物にするのかを決めるだけでも一苦労だったようです。学校行事の運営の中で様々なことに挑戦することで、リーダーシップが発揮できるようになったり、協調性が養われたりと、成長がみられると思えます。大宮国祭で生徒のどのような成長が見られるのかが楽しみです。

